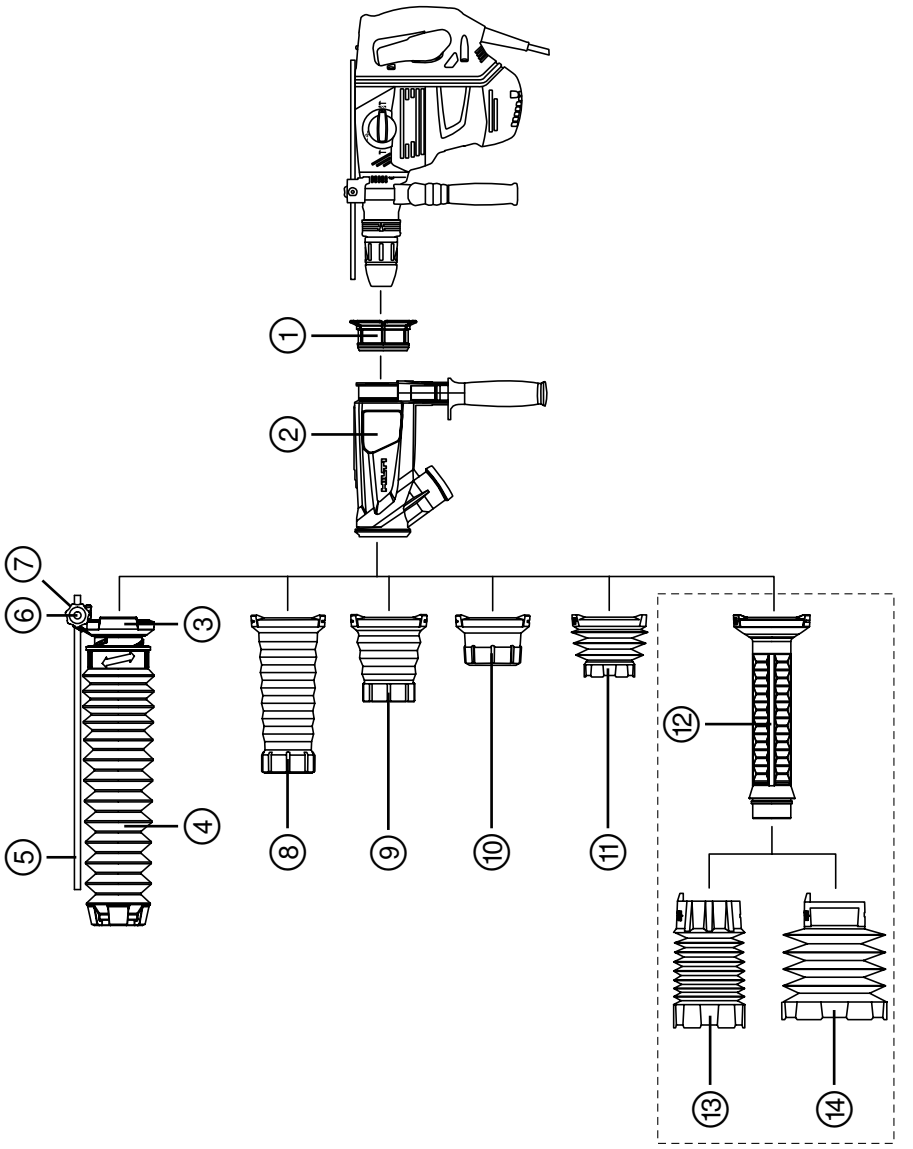
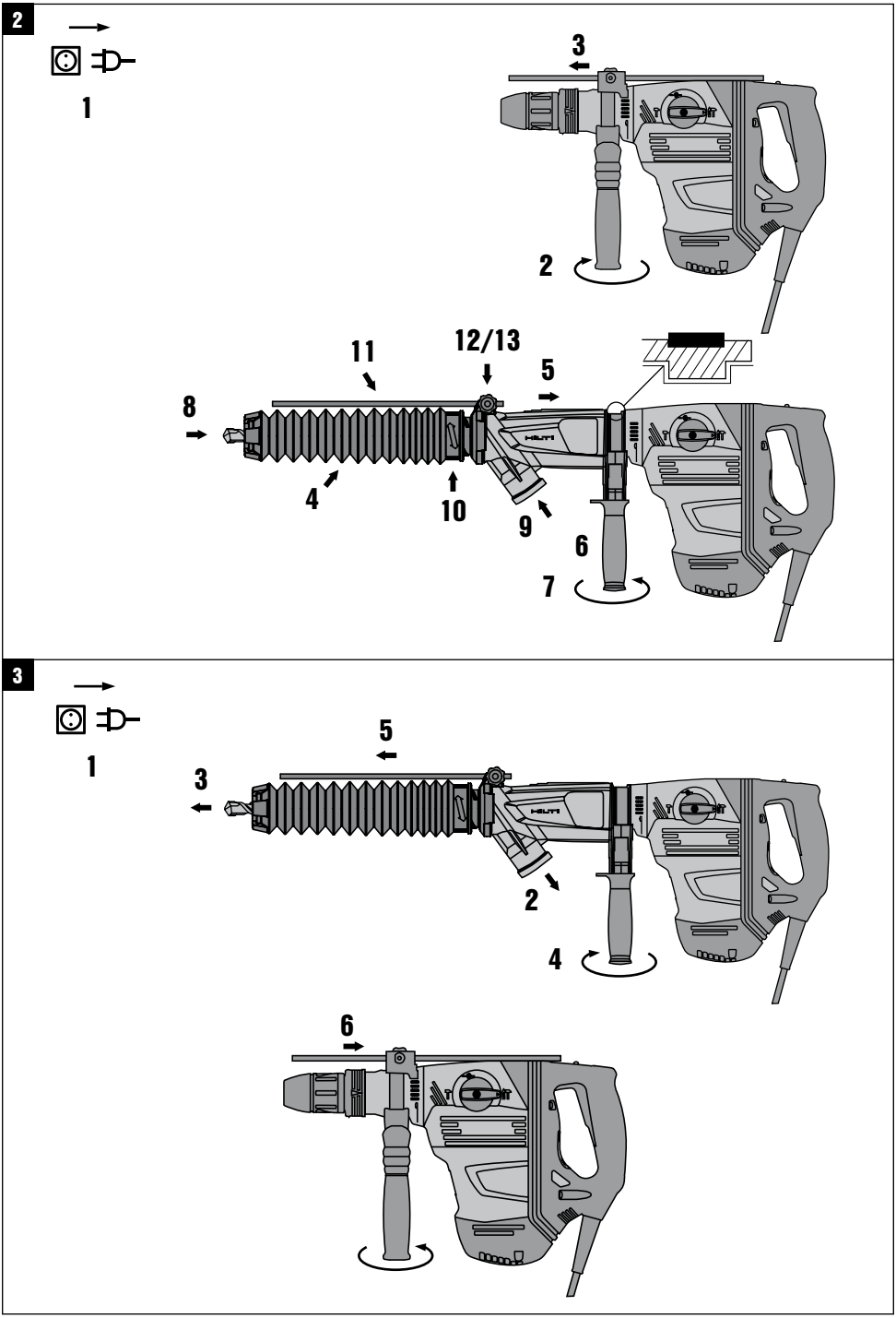
TE DRS-Y

Bedienungsanleitung	de
Operating instructions	en
Mode d'emploi	fr
Istruzioni d'uso	it
Manual de instrucciones	es
Manual de instruções	pt
Gebruiksaanwijzing	nl
Brugsanvisning	da
Bruksanvisning	sv
Bruksanvisning	no
Käyttöohje	fi
Οδηγιες χρησεως	el
Használati utasítás	hu
Instrukcja obsługi	pl
Инструкция по эксплуатации	ru
Návod k obsluze	cs
Návod na obsluhu	sk
Upute za uporabu	hr
Navodila za uporabo	sl
Ръководство за обслужване	bg
Instrucțiuni de utilizare	ro
Kulllanma Talimatı	tr
دليل الاستعمال	ar
Lietošanas pamācība	lv
Instrukcija	lt
Kasutusjuhend	et
ІНСТРУКЦІЯ З ЕКСПЛУАТАЦІЇ	uk
Пайдалану бойынша басшылық	kk
取扱説明書	ja
사용설명서	ko
操 作 說 明 書	zh
操作说明书	cn

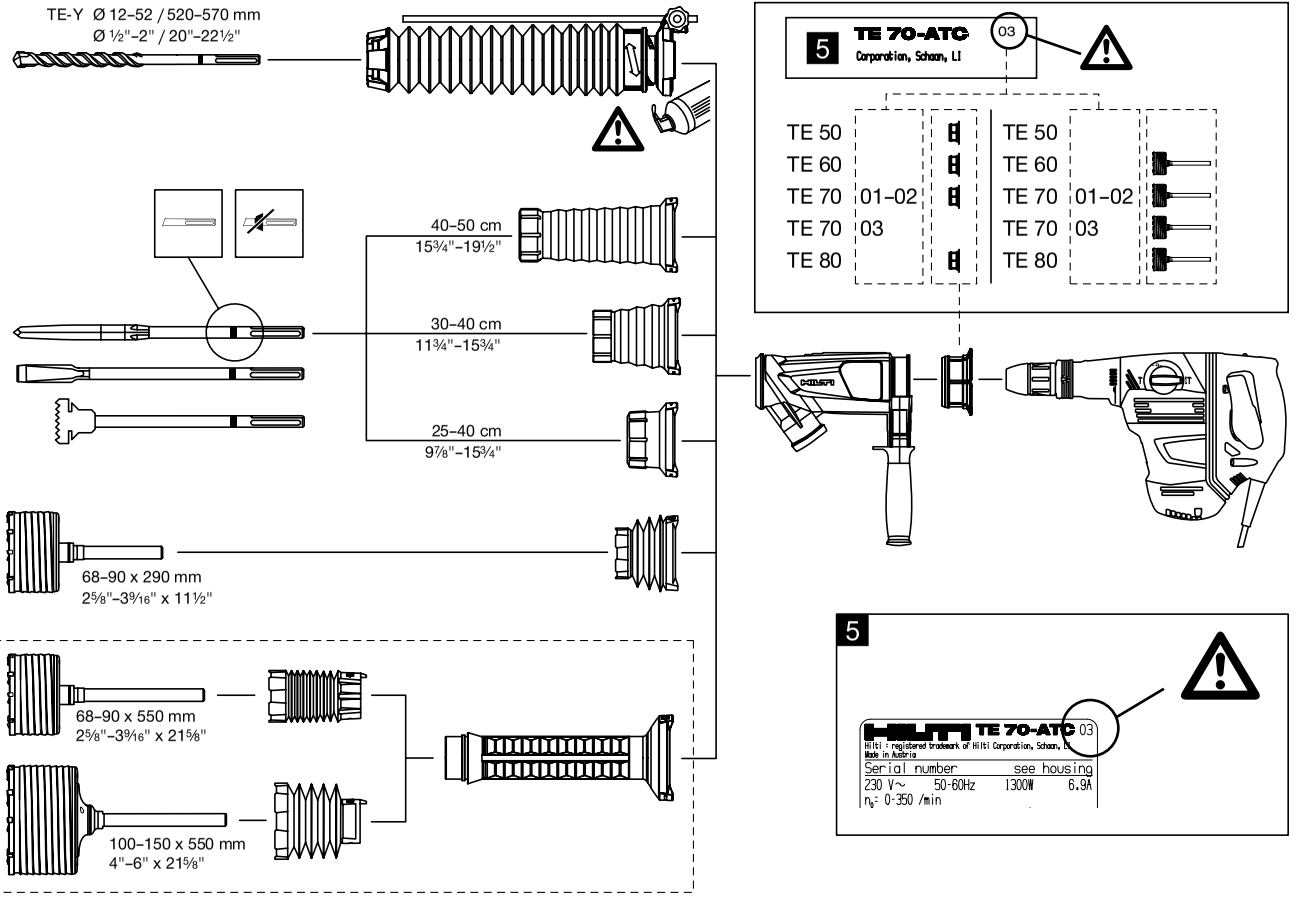
Printed: 07.07.2013 | Doc-Nr: PUB / 5128452 / 000 / 00

1




2
1
3
2
11
12/13
5
8
4
10
9
6
7
3
1
5
3
2
4
6

Printed: 07.07.2013 | Doc-Nr: PUB / 5128452 / 000 / 00



オリジナル取扱説明書

TE DRS-Y 集じんモジュール

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

この取扱説明書は必ず工具と一緒に保管してください。

他の人が使用する場合には、本体と取扱説明書を一緒にお渡しください。

目次	頁
1 一般的な注意	204
2 製品の説明	205
3 製品仕様	205
4 安全上の注意	206
5 ご使用前に	207
6 ご使用方法	208
7 手入れと保守	209
8 故障かな？ と思った時	209
9 廃棄	210
10 本体に関するメーカー保証	210

1 この数字は該当図を示しています。 図は二つ折りの表紙の中にあります。 取扱説明書をお読みの際は、これらのページを開いてください。
この取扱説明書で「モジュール」と呼ばれる装置は、常に TE DRS-Y 集じんモジュールを指しています。

各部名称、操作部名称 TE DRS-Y 1

① アダプター
② サイドハンドル付きサクションベース
③ 接続ピース
④ ベローズ 12-52
⑤ デプスゲージ
⑥ 星形ハンドル
⑦ ナット
⑧ サクションヘッドロング
⑨ サクションヘッド （中）
⑩ サクションヘッドショート
⑪ ベローズ 68-90/ 290 mm

オプション：
⑫ サクションパイプ
⑬ ベローズ 68-90/550 mm
⑭ ベローズ 100-150/ 550 mm

1 一般的な注意

1.1 安全に関する表示とその意味

危険
この表記は、重傷あるいは死亡事故につながる危険性がある場合に注意を促すために使われます。

警告事項
この表記は、重傷あるいは死亡事故につながる可能性がある場合に注意を促すために使われます。

注意
この表記は、軽傷あるいは所持物の損傷が発生する可能性がある場合に使われます。

注意事項
この表記は、本製品を効率良く取り扱うための注意事項や役に立つ情報を示す場合に使われます。

1.2 記号の説明と注意事項

警告表示

一般警告事項

義務表示

粉じんの多い作業においては、防じんマスクを着用してください

保護手袋を着用してください

安全靴を着用してください

略号

ご使用前に取扱説明書をお読みください

リサイクル規制部品です

ja

機種名 ・ 製造番号の表示箇所
機種名はモジュール上に表示されています。 ヒルティ代理店やサービスセンターへお問い合わせの際には、 必ず当データを引用してください。

機種名 :

製品世代 : 01

製造番号 :

2 製品の説明

2.1 正しい使用

TE DRS-Y 集じんモジュールはヒルティコンビハンマードリル TE 50、 TE 60、 TE 70、 および TE 80 専用のアクセサリーです。
当モジュールは本体、 すなわち使用しているコンビハンマードリルにすばやく、 簡単に取り付けることができます。
けがを防止するため、 当モジュールは図 4 で取り上げたヒルティコンビハンマードリルにのみ使用してください。
当モジュールはプロ仕様で製作されています。 当モジュールの使用、 保守、 修理を行うのは、 認定、 訓練された人に限ります。 これらの人は、 遭遇し得る危険に関する情報を入手していなければなりません。
当モジュールおよび本体の、 使用法を知らない者による誤使用、 あるいは規定外使用は危険です。
集じんモジュールは、 必ずヒルティ純正の集じん機とともに使用してください。
水の吸い込みには使用しないでください。
当モジュールを、 爆発危険のある物質、 赤熱または燃焼している粉じん、 あるいは可燃性があり爆発力の大きい粉じん （例えばマグネシウムとアルミニウムの粉じん） および液体 （例えばガソリン、 溶剤、 電解液、 冷却剤、 潤滑剤） の集じんに使用することはできません。
静電気帯電を防止するために、 静電防止サクションホース付きの集じん機を使用してください。
作業区域 : 建設現場、 工場での改修 ・ 改築 ・ 新築工事など。
健康を損なう恐れのある母材 （アスベストなど） への加工は許されません。
モジュールの加工や改造は許されません。

2.2 本体標準セット構成品 :

- 1 サイドハンドル付きサクションベース
- 1 ベローズ 68-90/ 290 mm
- 1 サクションヘッドショート
- 1 サクションヘッド （中）
- 1 サクションヘッドロング
- 1 本体ケース
- 1 取扱説明書
- 1 アダプター
- 1 接続ピース
- 1 ベローズ 12-52
- 1 デプスゲージ
- 1 星形ハンドル
- 1 ナット

2.3 オプション :

- 1 サクションパイプ
- 1 ベローズ 68-90/550 mm
- 1 ベローズ 100-150/ 550 mm

3 製品仕様

技術データは予告なく変更されることがあります。

モジュール	ベローズ 68-90/ 290 mm	ベローズ 68-90/ 550 mm	ベローズ 100-150/ 550 mm	ベローズ 12-52
重量	660 g	880 g	920 g	1,000 g
寸法 （長 x 幅 x 高）	310 mm x 96 mm x 290 mm (12 インチ x 3⅞ インチ x 11½ インチ)	575 mm x 96 mm x 290 mm (22⅝ インチ x 3⅞ インチ x 11½ インチ)	575 mm x 100 mm x 290 mm (22⅝ インチ x 4 インチ x 11½ インチ)	400 mm x ⌀ 96 mm (15¾ インチ x ⌀ 3⅞ インチ)
先端工具タイプ	TE-Y-BK	TE-Y-BK	TE-Y-BK	TE-Y ハンマードリルビット
先端工具直径	68... 90 mm (2⅝ インチ ...3⁹⁄₁₆ インチ)	68... 90 mm (2⅝ インチ ...3⁹⁄₁₆ インチ)	100... 150 mm (4 インチ ...6 インチ)	12... 52 mm (½ インチ ...2 インチ)

ja

モジュール	ベローズ 68-90/ 290 mm	ベローズ 68-90/ 550 mm	ベローズ 100-150/ 550 mm	ベローズ 12-52
先端工具の長さ	290 mm (11½ インチ)	550 mm (21⅝ インチ)	550 mm (21⅝ インチ)	520... 570 mm (20 インチ ...22½ インチ)
用途	HBK 穿孔	HBK 穿孔	HBK 穿孔	打撃穿孔
本体	TE 60、 TE 70、 TE 80	TE 60、 TE 70、 TE 80	TE 60、 TE 70、 TE 80	TE 50、 TE 60、 TE 70、 TE 80

モジュール	サクションヘッド (ショート)	サクションヘッド (中)	サクションヘッド (ロング)
重量	660 g	710 g	760 g
寸法 (長 x 幅 x 高)	65 mm x ⌀ 96 mm (2½ インチ x 3⅞ インチ)	130 mm x ⌀ 96 mm (5½ インチ x 3⅞ インチ)	205 mm x ⌀ 96 mm (8½ インチ x 3⅞ インチ)
先端工具タイプ	ブルポイントおよびコールドチゼル、 ビシャン (面あらし)	ブルポイントおよびコールドチゼル、 ビシャン (面あらし)	ブルポイントおよびコールドチゼル、 ビシャン (面あらし)
先端工具の長さ	250... 400 mm (9⅞ インチ ...15¾ インチ)	300... 400 mm (11¾ インチ ...15¾ インチ)	400... 500 mm (15¾ インチ ...19½ インチ)
用途	ハツリ作業	ハツリ作業	ハツリ作業
本体	TE 50、 TE 60、 TE 70、 TE 80	TE 50、 TE 60、 TE 70、 TE 80	TE 50、 TE 60、 TE 70、 TE 80

注意事項
3 軸合成値

振動について	TE 50-AVR(2)	TE 60-ATC/AVR(3)	TE 70-ATC(2)	TE 80-ATC/AVR(1)
穿 孔 (TE DRS-Y なし)	11.4 m/s²	7.5 m/s²	22 m/s²	8.8 m/s²
穿 孔 (TE DRS-Y あり)	10.8 m/s²	6.1 m/s²	15.5 m/s²	8.2 m/s²

4 安全上の注意

注意！ 注意事項のすべてをよくお読みください。 ご使用のヒルティ電動工具の取扱説明書に記載されている安全上の注意を遵守してください。 注意事項に従わない場合、 重大な負傷をまねく恐れがあります。 安全ガイドを大切に保管してください。

4.1 電気に関する安全注意事項

a) **パイプ、 ラジエーター、 電子レンジ、 冷蔵庫などのアースされた面に体の一部が触れないようにしてください。** 体が触れると感電の危険が大きくなります。
b) **隠れた電線や装置自体の電源コードに先端工具が接触する可能性のある作業を行う場合は、 必ず本体の絶縁されたグリップを持ってください。** 通電しているケーブルと接触すると、 本体の金属部分にも電圧がかかり、 感電の危険があります。
c) **作業を開始する前に、 作業場に埋設された電線、 ガス管や水道管がないかを金属探知機などで調査してください。** 例えば、 作業中に誤って先端工具が電線に触れると、 本体の金属部分とケーブルが通電する可能性があります。 この場合、 感電による重大な事故が発生する危険があります。

4.2 作業者に関する安全

a) **電動工具を使用の際には、 油断せずに十分注意し、 常識をもった作業をおこなってください。 疲れている場合、 薬物、 医薬品服用およびアルコール飲用による影響下にある場合には電動工具を使用しないでください。** 電動工具使用中の一瞬の不注意が重傷の原因となることがあります。

ja

b) **作業保護具および保護メガネを常に着用してください。** けがに備え、 電動工具使用状況に応じた粉じんマスク、 耐滑性の安全靴、 ヘルメット、 耳栓などの作業保護具を使用してください。

c) **電動工具の使用中、 子供や無関係者を作業場へ近づけないでください。** 作業中に気がそらされると、 本体のコントロールを失ってしまう恐れがあります。

4.3 慎重な取扱いおよび使用

a) **電動工具、 アクセサリー、 先端工具などは本説明書内の指示に従って使用してください。 この際、 作業環境および用途に関してもよくご注意ください。** 指定された用途以外に電動工具を使用すると危険な状況をまねく恐れがあります。

b) **電動工具をご使用にならない場合には、 子供の手の届かない場所に保管してください。 電動工具に関する知識のない方、 本説明書をお読みでない方による本体のご使用はお避けください。** 未経験者による電動工具の使用は危険です。

c) **本体の設定やアクセサリーの交換を行う前や本体を保管する前には電源プラグをコンセントから抜くか、 バッテリーを取り外してください。** この安全処置により、 電動工具の不意の始動を防止することができます。

d) **本体を支えるときは、 必ず両手でグリップを持ってください。 グリップは乾いた清潔な状態に保ち、 オイルやグリスを付着しないでください。**

e) **電動工具のスイッチを入れる前に、 必ず調節キーやレンチを取り外してください。** 調節キーやレンチが本体の回転部に装着されたままでは、 けがの原因となる恐れがあります。

f) **電動工具は慎重に手入れしてください。 可動部分が引っ掛かりなく正常に作動しているか、 電動工具の運転に影響を及ぼす各部分が破損・損傷していないかを確認してください。 電動工具を再度ご使用になる前に、 損傷部分の修理を依頼してください。** 発生事故の多くは保守管理の不十分な電動工具の使用が原因となっています。

4.4 作業場の安全確保

作業場の換気に十分配慮してください。 作業場の換気が十分でないと、 粉じんによる汚染で健康が害される恐れがあります。

4.5 塵埃

当モジュールは発生した塵埃をかなりの割合で集じんしますが、 全て残らず集じんするわけではありません。

a) **警告事項 : 母材の加工により生じた粉じんの中には、 発がん性物質として知られている化学物質や、 出産時に障害を及ぼしたり、 不妊症、 気管障害あるいはその他の障害をもたらす化学物質が含まれているものもあります。** 化学物質の一例としては、 含鉛塗料の鉛やレンガ、 コンクリート、 石材、 天然石の結晶石英あるいは化学処理が施された建材の砒素およびクロムが挙げられます。 このような作業をどのくらいの頻度で行うかにより、 被る危険性は変わってきます。 **このような化学物質の負荷を最小限に抑えるために、 使用者や近くにいる人は、 換気のよい場所で作業し、 安全設備を施してください。 特定の粉じんに対応し、 粉じんの粒子を通さない防じんマスクを着用して、 顔や身体に粉じんが付かないようにしてください。 長時間、 粉じんに触れることのないようにしてください。 保護服を着用し、 粉じんに触れてしまった場合は、 石鹸で肌を洗い流してください。** 口や鼻、 目から粉じんを取り込んでしまったり、 粉じんが肌に長時間触れていた場合、 健康を脅かす化学物質の摂取を促進する可能性があります。

b) **作業を開始する前に、 作業中に発生する粉じんの危険レベルを確認してください。 それぞれの地域の粉じん防止規定に相応した、 公的に認められた保護クラスを持つ建築用集じん機を使用してください。**

c) **本体に集じん装置を取り付けないで作業をする場合、 作業される方は少なくとも防じんマスクを着用しなければなりません。 注意 粉じんは健康を損なう恐れがあり、 呼吸器疾患、 皮膚病、 アレルギー反応を引き起こすことがあります。**

5 ご使用前に

注意
機能切替スイッチが作業に対応した位置にあるかどうか、 確認してください。

5.1 集じんモジュール TE DRS-Y の取付け 2

注意事項
チゼル先端工具の場合、 集じん装置が支障なく作動できるように、 サクションヘッドから出ている先端工具の長さは 145 mm 以上あるいは 30 mm 未満にしないでください。

注意事項
ギアボックスネック / サイドハンドル位置の外側面にオイルやグリスが付着していないことを確認してください。 集じんモジュール TE DRS-Y にオイルおよび / またはグリスの付着した部品を取り付けると、 作業中に集じんモジュール TE DRS-Y およびサイドハンドルが回転してしまうことがあります。 サイドハンドルのクランピングバンド近くのサクションベースにもオイルおよびグリスが付着していてはなりません。 サイドハンドルと本体との間に十分な摩擦が得られることを保証できるのは、 グリスの付着していない部品を使用した場合だけです。 ウエスを使用して、 ギアボックスネック / サイドハンドル位置の外側面からオイルやグリスを取り除いてください。

注意
図 4 に示されたブルポイント、 コールドチゼルビシャン （面あらし） およびパーカッションコアビットのみを使用してください。

取付けの際、 先端工具が電動工具に装着されていないことを確認してください。
1. 不意に始動しないように電源コードをコンセントから抜きます。
2. 取り付けられている本体のサイドハンドルを開きます。
3. 本体からサイドハンドルを取り外します。
4. 図 4 を参照にして適切な集じんシステムを選択し、 部品をサクションベースに取り付けます。
5. チャック上で、 取り付けたシステムをサイドハンドルによりギアボックスネック / サイドハンドル位置までスライドさせます。 TE 50、 TE 60、 TE 70(2) および TE 80 にはアダプターを使用します。
6. サクションベースとサイドハンドルをご希望の位置に回します。
7. サイドハンドルのグリップを回して、 しっかりと固定します。
8. 先端工具を装着する前に、 コネクションエンドに規定のヒルティグリスを塗布します。 先端工具をチャックに差し込みます。 先端工具を装着する際は、 電動工具の取扱説明書の記述に注意してください。
9. 集じん機を集じんモジュールに接続します。
   注意事項打撃穿孔の場合のみ ：
10. ドリルビット先端が約 15mm 突出するようにベローズの長さを調整します。
11. デプスゲージを挿入します。
12. デプスゲージをご希望の穿孔深さにセットします。
13. 星形ハンドルでデプスゲージがずれないように固定します。

5.2 集じんモジュールの取外し 3

注意
先端工具は使用することで熱くなるので、 先端工具の交換時には保護手袋を着用してください。

1. 不意に始動しないように電源コードをコンセントから抜きます。
2. 集じん機を集じんモジュールから外します。
3. 先端工具をチャックから取り外します。
4. グリップを回してサイドハンドルを開きます。
5. 集じんモジュールアセンブリーを引き抜きます。
6. 本体のサイドハンドルを取り付けます。

6 ご使用方法

注意
ご使用のヒルティ電動工具の取扱説明書に従ってください。 けがを防止するため、 当モジュールは図 4 に示したドリル本体にのみ使用してください。

注意
当モジュールが熱くならないよう、 注意してください。 80 °C 以上の場合、 素材が溶けます。

注意
運転中は、 本体をサクションヘッドまたはサクションパイプを掴んで保持しないでください。

注意
機能切替スイッチが作業に対応した位置にあるかどうか、 確認してください。

注意
集じんモジュールのサクションベースまたはサクションパイプ / サクションヘッドは、 システムの持運びあるいはガイドに使用しないでください。 システムの持運びやガイドにはグリップを使用してください。

6.1 操作

注意事項
静電気帯電を防止するため、 静電防止集じん機を使用してください。

注意事項
集じんモジュールを取り付けた状態では、 運転中は集じん機をオンにしておかなければなりません。

注意事項
集じん機を定期的に空にしてください。

1. 集じん機を接続して、 スイッチをオンにします。
2. 電動工具のスイッチをオンにします。

7 手入れと保守

注意
電源プラグをコンセントから抜いてください。 充電式機器の場合は、 バッテリーパックを取り外してください。

7.1 モジュールの手入れ

注意
本体各部の内側を清掃する際に、 オイル、 グリスあるいは洗浄剤は使用しないでください。

固着した汚れを取り除き、 サクションベースの集じん吸入口に何もないかどうか点検します。
モジュールを定期的に冷水で清掃します。
アダプターの内側に付いたグリスや集じん残留物を定期的に清掃します。

7.2 保守

モジュールの全ての表面パーツに損傷がないか、 また全ての装置が支障なく作動するか確認してください。
パーツが損傷していたり、 装置が正しく作動しない場合は、 モジュールを使用しないでください。

8 故障かな？ と思った時

症状	考えられる原因	処置
塵埃が溢れ出る	集じん機が満杯。	集じん機を空にする。
	サクションヘッド / ベローズの故障。	サクションヘッドまたはベローズを交換する。
	集じんダクトが詰まっている。	集じんダクトを清掃する。
	先端工具の突出長さが 145 mm 以上。	短い先端工具または長いサクションヘッドを選択します。
	集じん機のサクションホースが完全に取り付けられていない。	集じん機のサクションホースを完全にベース部品に差し込みます。
	コアの残りが集じんボアに詰まっている。	コアをビットで取り除きます。
	サクションヘッド / ベローズの摩耗。	サクションヘッドおよび / またはベローズを交換する。
	パーカッションコアビットとサクションパイプとの距離が大き過ぎる。	必ずヒルティパーカッションコアビットを使用してください。
集じんモジュールが落下する	集じんモジュールが正しく取り付けられていない。	集じんモジュールを取扱説明書に従って取り付けます。 ベース部品は規定の位置に取り付けられていなければなりません。
	ベース部品、 本体ネックにオイルおよびグリスの付着がある。	ウエスを使用して、 オイルおよびグリスをベース部品ならびに本体ネックの外側面から除去します。
	サイドハンドルが固定されていない。	サイドハンドルを固定します。
	サイドハンドルの破損。	新しいサイドハンドルを取り付けます。
	アダプターを忘れている。	アダプターを取り付けてください。
集じんモジュールを取り外すことができない。	サイドハンドルのクランピングバンドが十分に開いていない。	グリップをさらに緩めてクランピングバンドを大きく開きます。
可動集じん装置が常時ピーピー音を発する。	ベローズのノブが摩耗している。	ベローズを交換する。
サイドハンドルがベース部品に取り付けられていない。	サイドハンドルを無理な力を加えてベース部品から取り外した。	両部品を向き合わせて取り付けます。 サイドハンドルの取付け方向に注意してください。
サクションパイプの長さを調整できない。	サクションヘッドのネジ部に埃または汚れがある。	ネジ部の表面に軽くグリス / オイルを塗布します。
サクションパイプ : ベローズがネジから外れる。	ベローズをストッパーを超えて回している。	ベローズをネジに固定してください。

9 廃棄

本体の大部分の部品はリサイクル可能です。 リサイクル前にそれぞれの部品は分別して回収されなければなりません。 多くの国でヒルティは、 古い電動工具をリサイクルのために回収しています。 詳細については弊社営業担当またはヒルティ代理店・販売店にお尋ねください。

穿孔粉じんの廃棄
回収した穿孔粉じんは各国の法規に従って廃棄してください。

10 本体に関するメーカー保証

ヒルティは提供した本体に材質的または、 製造上欠陥がないことを保証します。 この保証はヒルティ取扱説明書に従って本体の操作、 取り扱いおよび清掃、 保守が正しく行われていること、 ならびに技術系統が維持されていることを条件とします。 このことは、 ヒルティ純正の、 消耗品、 付属品、 修理部品のみを本体に使用することができることを意味します。

この保証で提供されるのは、 本体のライフタイム期間内における欠陥部品の無償の修理サービスまたは部品交換に限られます。 通常の摩耗の結果として必要となる修理、 部品交換はこの保証の対象となりません。

上記以外の請求は、 拘束力のある国内規則がかかる請求の排除を禁じている場合を除き一切排除されます。 とりわけ、 ヒルティは、 本体の使用目的の如何に関わらず、 使用した若しくは使用できなかったことに関して、 またはそのことを理由として生じた直接的、 間接的、 付随的、 結果的な損害、 損失または費用について責任を負いません。 市場適合性および目的への適合性についての保証は明確に排除されます。

修理または交換の際は、 欠陥が判明した本体または関連部品を直ちに弊社営業担当またはヒルティ代理店・販売店宛てにお送りください。

以上が、 保証に関するヒルティの全責任であり、 保証に関するその他の説明、 または口頭若しくは文書による取り決めは何ら効力を有しません。

Hilti Corporation
LI-9494 Schaan
Tel.: +423 / 234 21 11
Fax: +423 / 234 29 65
www.hilti.com

Hilti = registered trademark of Hilti Corp., Schaan
W 4265 | 0113 | 00-Pos. 1 | 1
Printed in Germany © 2013
Right of technical and programme changes reserved S. E. & O.

2055779 / A2

Printed: 07.07.2013 | Doc-Nr: PUB / 5128452 / 000 / 00